

平成 30 年度
日野市立図書館の運営の
状況に関する評価書
(平成 29 年度事業)

くらしの中に図書館を

平成 30 年 9 月
日野市立図書館

目次

1	はじめに	1
2	評価の目的	1
3	図書館の現状	1
	（1）施設	1
	（2）組織・職員	2
	（3）主な業務	2
4	評価の実施方法	2
5	評価の対象	2
6	評価の結果	3
No. 1	第3次日野市立図書館基本計画の策定	7
No. 2	中央図書館耐震工事实施設計	8
No. 3	第3次日野市子ども読書活動推進計画の推進	9
No. 4	乳幼児へのサービス	10
No. 5	小中学生へのサービス	11
No. 6	青少年へのサービス	12
No. 7	学校支援	13
No. 8	成人・高齢者サービス	14
No. 9	障害者サービス	15
No. 10	資料の選択・収集	16
No. 11	予約・リクエスト・相互貸借	17
No. 12	レファレンスサービス	18
No. 13	地域・行政資料（市政図書室）	19
No. 14	各館での取組み（中央図書館）	20
No. 15	各館での取組み（高幡図書館）	21
No. 16	各館での取組み（日野図書館）	22
No. 17	各館での取組み（多摩平図書館）	23
No. 18	各館での取組み（平山図書館）	24
No. 19	各館での取組み（百草図書館）	25
No. 20	各館での取組み（移動図書館）	26
No. 21	図書貸出管理システムの更改	27
No. 22	広報	28
参考資料	I 図書館事業のあらまし	29
	II 日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱	46
	III 図書館協議会委員名簿	47

1 はじめに

平成 20 年 6 月に「図書館法」が改正され、図書館の運営の状況に関する評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めること、また、図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならないこととされました。

そのため、図書館では、平成 21 年 3 月 31 日に、「日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成 21 年度から図書館の運営状況に関する評価を開始しました。

2 評価の目的

この評価は、図書館の運営状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深め、連携及び協力を推進し、市民・利用者に信頼される効果的な図書館運営の推進に資することを目的に行います。

この目的遂行のため、図書館は毎年 1 回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとしています。その評価結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

3 図書館の現状

(1) 施設

施設の名称	延べ床面積	現館の開館日	所在地	蔵書数
中央図書館	2,220 m ²	昭和 48. 4. 28	豊田 2-49-2	329 千冊
移動図書館	1 台 (20 駐車場)	昭和 40. 9. 21	同上	32 千冊
高幡図書館	1,358 m ²	昭和 55. 5. 11	三沢 4-1-12	100 千冊
日野図書館	422 m ²	昭和 55. 5. 18	日野本町 7-5-14	56 千冊
多摩平図書館	856 m ²	平成 16. 4. 1	多摩平 2-9 多摩平の森ふれあい館 1 階	122 千冊
平山図書館	412 m ²	平成 20. 4. 5	平山 5-18-2 平山季重ふれあい館 1 階	65 千冊
市政図書室	140 m ²	昭和 52. 12. 1	神明 1-12-1 日野市役所 1 階	47 千冊
百草図書館	759 m ²	平成 2. 11. 16	百草 204-1 ガーデنبリュー石神 D2 階	72 千冊

(2) 組織・職員 ※平成 30 年 3 月 31 日現在

1 課 3 係（庶務・業務・奉仕）、6 分館

正規職員 32 人（うち司書 26 人）、

再任用職員 6 人（うち司書 4 人）

嘱託職員・臨時職員（週 30 時間換算） 32.8 人

(3) 主な業務

- ・図書館資料の収集、整理及び保存
- ・個人貸出、団体貸出
- ・読書案内及び読書相談
- ・レファレンス
- ・読書会、研究会、講習会、展示会等の主催及び奨励
- ・館報その他の読書資料の発行及び頒布
- ・図書館資料の図書館間相互貸借
- ・市内の学校への資料提供と支援
- ・地方行政資料の収集及び提供

4 評価の実施方法

評価の対象事業について、図書館の活動実績・自己評価を、図書館協議会に報告し、事業の説明会を実施しました。それに対し図書館協議会委員の意見をいただき、評価を行いました。

5 評価の対象

「第 2 次日野市立図書館基本計画」の基本方針の下での重点的な取組みから抽出した、下記 14 事業について評価を行いました。

○基本方針 すべての市民が利用しやすい図書館をめざします

【第 3 次子ども読書活動推進計画の推進】

【乳幼児へのサービス】

【小中学生へのサービス】

【青少年へのサービス】

【学校支援】

【成人・高齢者サービス】

【障害者サービス】

【各館での取組み】

【図書貸出管理システムの更改】

【広報】

○基本方針 市民が求める本や資料・情報を収集・保存・提供します

【資料の選択・収集】

【予約・リクエスト・相互貸借】

○基本方針 市民と資料・情報とを結びつけ、市民の暮らしを支援します

【レファレンスサービス】

○基本方針 地域・行政資料を収集・保存・提供し、日野市の歴史を未来に伝えます

【地域・行政資料（市政図書室）】

6 評価の結果

《図書館協議会の総括的意見》

平成29年度における日野市立図書館は、多くの事業を実施した。項目としてとり上げられていないが、窓口における図書館の基本的なサービスも、利用者との対話を通じて着実に行われていると信じている。

また、個々の評価表の中でも「図書館協議会の意見」は議論の上まとめているが、「事業の課題と改善策」についての取り組みも必要になっていると思われる。

平成29年度は、「第3次日野市立図書館基本計画の策定」「中央図書館耐震補強工事実施計画」「第3次子ども読書活動推進計画の推進」「中央図書館で楽しむTOYODA BEER」「新年度に向けて：おはなし会の準備（日野図書館）」「闘病記コーナーの設置（平山図書館）」「図書貸出管理システムの更新準備」「ひまわり号の新たなサービス方法を行う準備」「LLブックの収集」等々と新しい試みを行った年であるし、次年度にも期待がもてる。

「基本計画」は、市民との約束である。未利用者へもしっかり届くようPRに努めていただきたい。

職員のモチベーションを高め、市民へのサービスを向上するため、図書費の増とともに、予算的・人的措置を進め、リニューアルプランの実現に向けても努力をお願いしたい。

《図書館の自己評価》

平成29年度は、これまでの図書館事業を振り返り総括し、市民の意見を活かして、今後の図書館のあり方を示し、取り組むべき内容と時期を具体的に示すため「第3次日野市立図書館基本計画」を策定しました。公募市民5人を含む策定委員会を設置し、委員には7館を視察した上で、全6回の会議で議論をいただきました。その他、市民の意見を計画に反映させるため、各館の利用者アンケート、移動図書館利用者アンケート、市民ワークショップを行い、素案にはパブリックコメントを実施しました。また、職員自らが考

え実行していく計画とするため、職員ワークショップも行いました。基本理念として、「くらしの中に図書館を～本と出あい、人と出あう「知のひろば」が地域の文化を創る～」を掲げ、「地域の特性を活かした地域館の取組みの充実」を重点施策とする、図書館の基本を大切にしながら、地域に展開している分館の特色を活かしていく計画を策定することができました。他部署・機関との連携も含め、さらに地域の人とのつながりを進めてまいります。

中央図書館リニューアルの一環として「中央図書館耐震補強工事実施設計」を実施しました。昭和48年に開館した中央図書館は、耐震診断の結果がわずかではありますが必要な数値を下回っており、建物の耐震性を高め、安全性を確保するため、耐震補強工事の実施設計を行ったものです。開館しながら工事を施工できること、意匠をできるだけ損なわないこと、館内の空間をそのまま残すこと、という観点から建物の外側の一部を新たな梁や柱で補強するアウトフレーム工法を採用しました。公共図書館の役割を建物で表したものとして、日本の図書館建築の歴史に残る建物を、長寿命化していく方向性を示す設計とすることができました。

「第3次子ども読書活動推進計画」に基づき、様々な取組みを展開しました。乳幼児とその保護者に向けた「絵本パック」の貸出や健康課主催ママパピラスでの図書館利用案内の開始。小学校への学級文庫の増冊や中学生と作家の交流事業2年目となる「はやみねかおるさん講演会」の開催。ヤングスタッフと実践女子大学学生による「ビブリオバトル」の企画開催も新たな取り組みでした。また、子どもの読書に関する市内のボランティア団体等との懇談会を初めて開催し、子どもの読書活動推進のために、地域の中で図書館が果たす役割をあらためて考えることができました。

今回の評価や意見を受けて、平成30年度からは、「第3次日野市立図書館基本計画」における地域の文化を創る図書館を目指した取組みを、市民に届けていきます。

各事業における図書館の自己評価及び図書館協議会からいただいた評価・意見は、5ページ以降の評価表のとおりです。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

基本理念

くらしの中に図書館を

基本方針

- (1) すべての市民が利用しやすい図書館を目指します。
- (2) 市民が求める本や資料・情報を収集・保存・提供します。
- (3) 市民と資料・情報とを結びつけ、市民の暮らしを支援します。
- (4) 地域・行政資料を収集・保存・提供し、日野市の歴史を未来に伝えます。
- (5) 読みたい、調べたい、学びたいという市民を応援します。
- (6) 資料や情報を介して、地域の人と人の交流を促します。

平成29年度主要事業

(1) 第3次日野市立図書館基本計画の策定

「第2次日野市立図書館基本計画」の計画期間（平成30年3月）の終了により、今後の図書館の役割を整理し直し、以下のことを明確に示すことを目的とします。

- ・これまでの図書館事業を振り返り、総括すること
- ・市民の意見を図書館活動に活かすこと
- ・現在の図書館の課題を明らかにし、今後の図書館のあり方を示すこと
- ・取り組むべき内容と時期を具体的に示すこと

「くらしの中に図書館を ～本と出あい、人と出あう 「知のひろば」が地域の文化を創る～」を基本理念とし、地域館（分館）がそれぞれの地域の特性を活かし、地域の文化を創る拠点となることをめざす取り組みを重点施策とする「第3次日野市立図書館基本計画」を策定した。

(2) 中央図書館耐震補強工事

公共図書館建築の一つのモデルとされる中央図書館を日野市の誇りとして永く活用するべく、耐震診断の結果に基づく中央図書館耐震補強工事実施設計を実施する。

(3) 第3次子ども読書活動推進計画の推進

子どもたち自らが、成長や興味に応じて本の楽しさを発見し、読書を通じて学び考え生きる力を育むことができるよう、「読書でひろがる ひのっ子の力」を基本理念に、次の3つの基本方針の達成を目指す。

- ① 子どもたちが、さらに身近に本と出あえる環境づくり
- ② 子どもたちが、自ら読書の楽しさを発信する取り組み
- ③ 子どもと本をつなぐ活動をする人たちが連携する仕組みづくり

○事業項目(主要事業)

(1)第3次日野市立図書館基本計画の策定		
No. 1	第3次日野市立図書館基本計画の策定	7 ページ
(2)中央図書館リニューアル		
No. 2	中央図書館耐震補強工事実施設計	8 ページ
(3)第3次日野市子ども読書活動推進計画の推進		
No. 3	第3次日野市子ども読書活動推進計画の推進	9 ページ
No. 4	乳幼児へのサービス	10 ページ
No. 5	小中学生へのサービス	11 ページ
No. 6	青少年へのサービス	12 ページ
No. 7	学校支援	13 ページ

○事業項目(通常業務)

(4)通常業務		
No. 8	成人・高齢者サービス	14 ページ
No. 9	障害者サービス	15 ページ
No. 10	資料の選択・収集	16 ページ
No. 11	予約・リクエスト・相互貸借	17 ページ
No. 12	レファレンスサービス	18 ページ
No. 13	地域・行政資料(市政図書室)	19 ページ
No. 14	各館での取組み(中央図書館)	20 ページ
No. 15	各館での取組み(高幡図書館)	21 ページ
No. 16	各館での取組み(日野図書館)	22 ページ
No. 17	各館での取組み(多摩平図書館)	23 ページ
No. 18	各館での取組み(平山図書館)	24 ページ
No. 19	各館での取組み(百草図書館)	25 ページ
No. 20	各館での取組み(移動図書館)	26 ページ
No. 21	図書貸出管理システムの更改	27 ページ
No. 22	広報	28 ページ

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	第3次日野市立図書館基本計画の策定	事業番号	1
事業の概要	「第2次日野市立図書館基本計画」の計画期間(平成30年3月)の終了により、今後の図書館の役割を整理し直し、以下のことを明確に示すことを目的とする。 ・これまでの図書館事業を振り返り、総括すること ・市民の意見を図書館活動に活かすこと ・現在の図書館の課題を明らかにし、今後の図書館のあり方を示すこと ・取り組むべき内容と時期を具体的に示すこと		
事業の成果	・ 5月23日(火)・・・公募市民5人を含む策定委員会を設置 ・ 5月9日(火)～5月20日(土)・・・各図書館及びインターネット上において、日野市立図書館アンケートを実施(回収数合計675票) ・ 7月22日(土)・・・中央図書館バックヤードツアーを含む市民ワークショップ「みんなで語ろう！ 未来の図書館」を実施(参加15人) ・ 7月14日(金)～8月4日(金)・・・移動図書館ひまわり号アンケートを実施(回答者111人) ・ 9月25日(月)・・・職員ワークショップを実施(参加25人) ・ 1月5日(金)～1月26日(金)・・・素案へのパブリックコメントを募集 ・ 策定委員会は全6回開催(6月23日(金)、9月16日(土)、10月29日(日)、12月16日(土)、2月3日(土)、2月23日(金)) ・ 3月29日(木)・・・第3次日野市立図書館基本計画を策定 ・ アンケート等を行ったことで、本を通じて人と人とがつながっていることがわかり、地域の交流や憩いの場となつてほしいという市民の意見を計画に反映させ、今後の図書館活動の方針を明確にすることができた。 ・ 策定委員は、すべての館を視察し、各館の雰囲気を感じたうえで策定委員会の会議に臨んでいただくことができた。 ・ 地域館の取り組みを重点課題とすることをめざし、地域館で取り組む方針を全職員参加で立案する職員ワークショップを開催。職員全員参加での策定とすることができた。		
図書館協議会の意見	・ 平成30年度は1年目にあたり、ひとつひとつの取り組みが確かなものであるかを具体的に示されることを期待する。 ・ インターネットも使い広くアンケートを実施しており、また市民ワークショップも行うなど市民を巻き込んだ形で意見を聞こうという姿勢がよくわかる。アンケートの回収数の多さからも、ともに作り上げる方向へ進んでいるのだと思う。 ・ 職員ワークショップ開催の取り組みに新しさを感じた。それぞれが主体的に関わるきっかけとして有効だと思う。 ・ 利用者である市民の意見を反映した基本計画を策定できた事は、大いに評価できる。 ・ 今後、「分館」を「地域館」という呼び名で市民の中に浸透させていけると、市民も各図書館にさらに愛着を持てるのではないか。 ・ 多面的な資料収集に基づいて計画が策定されている。 ・ 地域館の特色発揮と中央館のバックアップを希望する。		
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 平成30年度に取り組む具体的な内容を検討し、進めていくこと。 ・ 取り組みを、市民に広く伝えること。 【改善策】 ・ 各担当で検討し、取り組みを職員が共有してすすめていく。 ・ 取り組みを、図書館ホームページや「館報ひろば」だけではなく、未利用者にも届くように広報する。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	中央図書館耐震補強工事実施設計	事業 番号	2
事業の概要	「中央図書館リニューアルプラン」の一環として、平成26年度に行った建物の耐震診断結果に基づく中央図書館耐震補強工事の実施設計を行う。		
事業の成果	中央図書館の建物の耐震診断を行ったところ、構造耐震指標の判定値が一部下回り、耐震補強が必要と判定された。建物の耐震性を高め、安全性を確保するため、耐震補強工事の実施設計を委託により行った。 ・耐震補強の方法として2案提示されていたが、開館しながら工事を施工できる「アウトフレーム工法」を採用した設計とした。 ・今回採用したアウトフレーム工法は、建物の外側を梁や柱(アウトフレーム)で補強していくものであり、建物の北側壁面を補強し、意匠もできるだけ損なわない方向での設計とした。 ・構造壁のひび割れ補修、事務室側の外部階段も方杖補強する設計となった。 ・コンクリートブロック壁の改修補強も必要となることがわかったため、リニューアル時に再度改修とならない範囲(1Fトイレ)での改修設計を平成30年度庁内で行う。 ・日本の公共図書館の歴史に残る建物を、長寿命化していく方向性を示す設計とすることができた。		
図書館協議会の意見	・改修設計が出来、合わせて補強工事が進められることを期待する。 ・かつて、前川恒雄氏が言われた「日本の公共図書館の記念碑」として大切にしてほしい。 ・幅広い年代の市民が利用する施設として、1Fトイレの改修がなるべく早く実現することを期待する。 ・歴史を感じる現存の建物を残しつつ、安全な図書館を望む。 ・開館しながら工事を施工できる工法の採用は、市民の利便性を損なわない点で適切であると考え。騒音、振動を含めた安全面の確保を十分に行ってほしい。 ・市民に対しては、リニューアル・プランを前面に出してPRしてほしい。		
事業の課題と改善策	【課題】 ・工事における安全面の確保 ・一部利用不可となるエリア・資料等の対応と周知 【改善策】 ・建築営繕課・施工業者と打ち合わせを密に行う。 ・利用状況を考慮して、必要な資料を手に取りれるような対応を行い、丁寧にお知らせしていく。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	第3次子ども読書活動推進計画の推進	事業番号	3
事業の概要	第3次日野市子ども読書活動推進計画に基づき、取り組みを推進する。		
事業の成果	・「子ども読書の日」にちなんだイベントとして「としょかんおはなしピクニック2017」を4月23日(日)に多摩平の森ふれあい館にて開催し親子のべ231名の参加があった。小林敏也氏のおはなしと宮澤賢治作品スライド上映ほか、多くの催しを行い、子どもと本をつなぐ行事として子どもから大人まで楽しんでいただけた。 ・子どもの読書に関する市内のボランティア団体、個人、学校支援ボランティアの方々との懇談会を12月5日(火)に初めて開催した。11団体の方および個人で活動している3名の方に参加いただき、非常に有意義な情報交換だったと感想をいただいた。今後も定期的に行っていくことで合意を得た。 ・平成28年度分の計画取り組み項目ごとの進捗調査票を関係各課へ依頼し、報告をまとめて情報共有した。平成27・28年度と継続した報告書がまとまり、児童館や学校などの具体的な取り組みがわかった。未着手部分を洗い出し、検討、実施を進めた。		
図書館協議会の意見	・そろそろ、この「読書計画推進」によって、子どもの読書がどう変わったのか、どう成果があがったのか、その影響・効果の内容にこそ注目すべきなのではないだろうか。 ・多くの部署にまたがる計画のため、進捗状況を共有することが重要だと思う。 ・第3次の計画を策定する際に提案されていた、子どもの読書に関わるボランティア団体、個人をつなげていくという件が、懇談会を開催するという形で動き出したことを評価したい。大きな一歩になったと思うが、懇談会開催の情報をさらに広めて、子どもの読書に関する活動がより一層広がって行くことを期待する。 ・重要な取り組みとして継続的、かつ関係先との連携も大切に。		
事業の課題と改善策	【課題】 ・子どもの読書に関わるボランティアの方々との懇談会を定期的に開催していくこと。 ・子どもの読書についての計画取り組みの影響・効果を検証し、第4次計画策定につなげること。 【改善策】 ・ボランティア連絡会の年2回開催をめざす。把握しきれていない市内の関連団体が他にないか広報等で呼びかけ展開させていく。 ・年度ごとの各課状況を取りまとめ、引き続き情報共有をしながら、計画最終年度に向け、今までの各課の取り組みについての影響や効果などを検証する。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	乳幼児へのサービス	事業番号	4
事業の概要	第3次日野市子ども読書活動推進計画に基づき、0歳から就学前までの乳児・幼児およびその保護者の読書活動を推進する		
事業の成果	- 健康課主催ママパパクラスでの図書館利用案内 これから親になる方への絵本紹介、読み聞かせ、ブックリスト配布、図書館利用案内を計3回行った。後日、クラスに参加された方が当日配布したブックリストを持参し来館、新規登録。図書館利用につなげることができた。 - 乳幼児関係機関と連携した事業実施 関連部署と「絵本リスト」を協働作成するため、保育園との会議を2回開催した。各職場での子どもの読書に関わる情報の共有を行い、リスト掲載図書の選定を行った。これにより、平成28年度に幼稚園と行った会議の成果と併せて、協働リスト作成の準備が整った。平成30年度に試作版を作成予定。 「絵本パック」の貸出実施 中央図書館にて1月より0～2歳と保護者を対象とした「絵本パック」の貸出を開始。本選びに悩んでいる方や忙しくてゆっくり本を選んでいられない方に向けて、「たべもの」「のりもの」などのテーマで選書した絵本3冊を袋に入れまとめて貸出。6テーマ40セットを用意。袋は雑誌の付録を活用。1月～3月の貸出しは61セット183冊。		
図書館協議会の意見	- これから親になる方に向けて、ママパパクラスのプログラムとして図書館利用や絵本紹介を組み込んだのはとても良いことだと思う。出産前には絵本の情報にまでは思いも至らないと思うので、積極的に情報提供し、出産前の心の準備の一つにしてもらえるとよいと思う。 - 乳幼児期に本に親しむことは、読書好きな大人を増やす上で大変有効であると考えます。 - 初めて子育てをする親の本選びの、初めの一步をサポートする大変良い活動である。 - 雑誌付録の手提げ袋を利用するという点も含め、絵本パックのアイデアに感心。さらに、その話題が地域紙「ショッパ」に掲載されたことも良かった。図書館の活動の一つとして、広く知られるとよいと思う。 - 保育園など関係機関との協力は大変良いことだと思う。		
事業の課題と改善策	【課題】 - 図書館は乳幼児を育てる保護者にも役立つ場所だということが、未だ周知されていない。 - リストの協働作成過程で深められた関連部署との連携を今後どのような形で活かしていくのか。 - 絵本パックを今後どのように展開させていくのか。 【改善策】 - ママパパクラスでの図書館利用案内を拡大実施。毎月行い、さらに多くの初めての子育てに取り組む市民に対し、図書館の存在をPRする。このことにより、出産前、また出産後乳幼児を連れての市民の図書館利用につなげる。 - 現状では図書館から関連部署主催の講座へ出張しているが、関連部署にも図書館講座・行事への協力を依頼し、更に連携を深める。 - 中央図書館での実施・利用状況を検証し、他館での実施について検討する。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	小中学生へのサービス	事業番号	5
事業の概要	第3次日野市子ども読書活動推進計画に基づき、小中学生の読書活動を推進する。		
事業の成果	・ 小学生対象事業「学童クラブ対象夏休みおはなし会」 夏休みも学童クラブへ通っていて、市立図書館内でのおはなし会に参加できない児童を対象に、学童クラブに呼びかけ、希望する学童クラブに出向いて夏休みおはなし会を実施した。希望はここ数年増えている（平成28年度は15回、平成29年度は12回）。毎年訪問している学童クラブの子どもたちから「去年も来たよね」と声がかかるなど、子どもたちが楽しく本と出会う機会をつくることができた。 ・ 中学生対象事業「中学生と作家の交流事業」 中学生が読書への関心を高めるきっかけとなるよう、小中高校生に人気の作家・はやみねかおるさんを招いて講演会を開催した（11月5日（日）、多摩平の森ふれあい館）。市内の8中学校から選出された22名の代表生徒に講演会の企画から当日の運営まで携わってもらった。作家の講演をただ聞くのではなく、中学生と作家が交流できるよう作家の著作の「ココが好き！」な思いを代表生徒が発表した。講演会の参加者は小学生から一般の方まであわせて152名。当日の中学生の参加は37名（代表生徒除く）。参加者のアンケートによる感想はおおむね好評であり、代表生徒たちからは達成感、充実感、さらなる読書への意欲が感じられた。 ・ 小中学生の読書調査 小学校4～6年生、中学校1～3年生への読書調査を6月に実施した。不読率（1か月に1冊も本を読まなかった人の割合）の推移等、子どもたちの読書状況の把握に努めることができた。		
図書館協議会の意見	・ 子どもたちにとって、おはなし会での本との出あいはとても大切だと思う。学童クラブでのおはなし会はぜひ継続してほしい。 ・ 乳幼児期に続き、小中学生が本に親しむ上で、中学生と作家の交流事業は質の高い取組である。 ・ 小中学生はじめ本好きな子どもたちに絶大な人気を誇るはやみねかおるさんの講演会はとても貴重な機会だった。中学生が運営に携わるには図書館職員の方のサポートが重要だと思うが、生徒の皆さんにとっての大きな経験と自信につながると思うので今後も続いていくことを期待したい。その年のスタッフとなった生徒さんの新しい意見やアイデアが盛り込まれていくとよいと思う。 ・ 「中学生と作家の交流事業」から市内の各中学校へと読書の輪が広がる活動となることを期待する。友人同士で本を紹介しあう活動は大切だと思う。 ・ この事業が、単なるイベントに終わらず、中学生たちにどのように根付き、どのように次の読書につながっているのかをきちんと検証してみる必要はないか。 ・ 「読書調査」は「子どもたちの読書状況の把握に努める」だけでなく、その調査結果の活用こそ大事ではないか。調査結果を市内小中学校等へフィードバックするなど、その対策を共有するべきではないか。		
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 学童クラブへの出張おはなし会は、まだまだPRが不十分である。一方、夏休み中にすべての学童クラブへの訪問は難しい。 ・ 「中学生と作家の交流事業」は、代表生徒の読書への関心は高まっていると感じるが、講演会に参加する中学生はまだ少ない。 ・ 読書調査結果の活用法とその対策 【改善策】 ・ 学童クラブへ積極的にPRする。夏休みだけでなく、冬休みや春休みにも利用してもらい、時期を分散させることも考えていく。 ・ 「中学生と作家の交流事業」は、多くの中学生が参加できる方法を検討し、事業の効果についても検証していく。 ・ 「読書調査」は、小中学生の読書状況の実態がつかめるような設問を工夫する。結果を学校にフィードバックし、読書活動推進のために何が必要か考えていく。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	青少年へのサービス	事業番号	6
事業の概要	第3次日野市子ども読書活動推進計画に基づき、青少年の読書活動を推進する。		
事業の成果	市内在住・在学・在勤の高校生・大学生世代からなる「日野ヤングスタッフ」(女性10名・男性5名、計15名)が、本の紹介イベント等を実施することを支援し、図書館や読書の楽しさを同世代に向けて発信することができた。 ・「としょかんおはなしピクニック2017」に参加(4月23日(日)) おすすめ本の紹介イベント「BOOKパレード」を開催した。ワークショップ「しおり作り」を終日行った。参加者7名。ヤングスタッフ8名。 ・「実践女子大学との交流会」(7月27日(木)) 大学図書館を見学し、学生と学園祭で行うイベントについて話し合った。参加者2名。ヤングスタッフ4名。 ・「実践女子大学常盤祭」(11月11日(土)、12日(日)) 「どうぶつ」がテーマの本や、フローチャートを展示した。 大学図書館内を巡るクイズラリーと、ワークショップ「おりがみ」を行った。 ・「実践女子大学常盤祭 ビブリオバトル」(11月12日(日)) 学生と合同で、学園祭での「ビブリオバトル」を企画し開催した。参加者56名。ヤングスタッフ5名。 ・日野第一中学校「BOOKパレード」(3月5日(月)) 図書委員会の生徒に向けて、おすすめ本の紹介を行った。参加者21名(各学年7名)。ヤングスタッフ3名。		
図書館協議会の意見	・「実践女子大学常盤祭」のために作成したフローチャートは高幡図書館でその後も展示されているとのこと。企画はもちろん、その場限りにならないような力作ができるということはスタッフの皆さんの努力の賜物だと思う。ビブリオバトルは、例えば公民館まつりなど、大学祭ではない場所で開催してもよいのではないだろうか。今後も「ヤングスタッフ」ならではの企画を期待したい。 ・中学校の図書委員会での活動はスタッフの方にとっても、中学生にとってもよいと思うので今後も継続してほしい。図書委員や積極的に参加する学生が増えることを期待する。 ・若者の読書活動を推進する上で、ヤングスタッフによる活動は、同世代の働きかけという点で効果的であると考えられる。一方で、特定の「ヤングスタッフ」を中心にした活動に偏りすぎていないか。併せて、広く一般青少年(せめて市内高校生)への働きかけが必要。		
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 広く一般青少年に向けて、活動の幅を広げていくこと。 ・ ヤングスタッフの「やりたい」という気持ちを尊重し、より充実した活動ができるようサポートする。 【改善策】 ・ 市内高校生に向けたヤングスタッフからの働きかけを検討し、学校へアプローチしていく。 ・ 中学校でのブックパレードを、継続して行う。 ・ 市内大学については、大学生とヤングスタッフがより交流を深め、協働していける関係を築く。 ・ 広報を工夫し、ヤングスタッフの活動が、多くの人の目に触れられるようにする。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	学校支援	事業番号	7
事業の概要	第3次日野市子ども読書活動推進計画に基づき、学校図書館を支援する。		
事業の成果	- 調べ学習用資料を搬送し貸出す「学校搬送」サービスの実施 利用回数／小学校のべ123回(平成28年度 107回)、中学校のべ10回(平成28年度 7回) 貸出冊数／小学校5,574冊(平成28年度 4,341冊)、中学校520冊(平成28年度 427冊) 前年度比、小学校28.4%増加、中学校21.8%増加とかなり利用が伸びた。また、年々利用クラス数も増え、広く周知されてきている。 複数の学校から、同じテーマで依頼されることも多かったが、学校と連絡を取り、日程の調整を行うことでほぼ希望冊数の資料を提供することができた。 - 小学校の学級文庫を補うための配本サービスの実施(本の森学級文庫) 2年生への配本冊数を約60冊に増冊し、拡充を図った。 - 情報を共有するため、司書教諭連絡会等への参加 年2回の司書教諭連絡会(5月15日(月)中央図書館、11月13日(月)高幡図書館)に参加し情報を共有した。学校搬送で依頼されたテーマのリストを配布し、「今後の参考になるのでよかった」という声をいただいた。 - 学校図書館の選書を行うにあたり参考となる図書の展示会を開催。 6月7日(水)、小学校13校、中学校3校、小中学校合わせて25名参加		
図書館協議会の意見	- 一度利用した先生方が、調べ学習用の資料の搬送サービスを再度利用することが増えているとのこと。図書館が、多忙な先生方の知恵袋としてさらに活用されるとよいと思う。 - 小学校によっては学校図書館(市政)協力員の方が司書の役割を果たしていることが少なくないと思うので、協力員の方も交えた連絡会や研修会を行ってはどうか。図書の展示会に協力員の方が多く来るということだが、集まって意見を交わす機会があってもよいのでは。 - 学校教諭との情報交換・共有の場は、学校支援をして行くうえでとても大切であり、今後も定期的にそのような場を設けていって欲しい。 - 学校図書館に対する手厚い支援は、各校の図書館運営の充実につながっていると思うが、学校図書館の本来の在り方を踏まえ、学校図書館にとって望ましい支援の方法とは何かを考えてみる必要があるのではないか。		
事業の課題と改善策	【課題】 - 学校搬送用資料は利用頻度が高く、劣化も早い。定期的な買い替えと補充が必要である。 - 学校搬送の担当職員と教諭との連絡がつきにくいとため、依頼への迅速な対応ができないことがある。 - 貸出した資料の活用状況の把握 【改善策】 - 資料購入においては展示会、連絡会等で得た情報を参考にする。 - 学校搬送では、貸出のリストを添付して資料に対する「優良可」等の簡単な評価をもらい、返却時に回収する。その評価や展示会、連絡会等で得た情報を参考に選書に反映させる。 - 学校搬送マニュアルをわかりやすく改善し、担当職員以外でも対応ができるようにする。 - 市立図書館・学校図書館連携システムを活用した運用方法を検討する。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	成人・高齢者サービス	事業番号	8
事業の概要	成人・高齢者の図書館利用を促進する。		
事業の成果	・ テーマ展示の実施による資料の利用促進 「春を楽しむ本」「アレルギー特集」等、毎月担当者が工夫したテーマ、または「子育て支援」「環境」等、市関連部署と連携したテーマに関する本を展示した。その他、ニュース等に合わせた臨時展示やミニ展示も実施した。各回の展示数は40冊程度。 ・ 読書会の開催 図書館主催の連続講座「はじまりの読書会2017」を全6回(9月15日(金)、10月20日(金)、11月17日(金)、1月19日(金)、2月16日(金)、3月16日(金))、多摩平の森ふれあい館で開催した。今年度は過去に映像化されている文学作品の中から短編～中編6作品を取り上げた。定員15名を募集し、毎回、7～15名の参加があった。会場、開催時間を変更したことにより、新たな参加者が獲得できた。また、既存の読書会サークルを紹介することにより、参加へのきっかけづくりを行うことができた。		
図書館協議会の意見	・ 様々なテーマ展示の努力を評価する。また「ザ・昭和」は面白い企画だった。 ・ 地域の高齢者の方を中心とした集まり(たとえば四ツ谷下東地区センターで行われているふれあいサロン「縁がわ」など)の場を活用することはできないだろうか。芥川賞、直木賞の受賞作など最近の話題の本についての解説や、本の宅配サービスや活字の大きな本の紹介など、高齢者の方に向けた情報提供も考えてみてはどうだろうか。 ・ 読書会の開催は、図書館が本を通じて「人と人」が出会う場となっていることを表しており、これからも是非続けて欲しい。 ・ 「はじまりの読書会」を開催時間等を変更して行ったのは良かったと思う。平日はお仕事で参加できない、といった方をターゲットに、週末に設定してみるなど、新しい参加者の掘り起こしのためにパターンを変えたり単発で行うなど、検討してはどうだろうか。		
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 読書会に興味を持っている方が、参加しやすい開催方法の工夫。 ・ 地域に高齢者が増えていく中で、高齢者が必要とする資料や情報を提供し、図書館を活用してもらう取り組み。 【改善策】 ・ 読書会に平日参加できない方や、複数回参加するのが難しい方向けに、開催曜日、回数を工夫した開催を検討する。 ・ 現在実施しているテーマ展示の中に高齢者向けのテーマを盛り込み、様々な視点から高齢者が必要とする資料や情報の提供に取り組む。 ・ 地域における高齢者の居場所となっているところへ、図書館の活用を呼びかける。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	障害者サービス	事業番号	9
事業の概要	・図書館利用に障害のある方へのサービスのPRを充実させる。 ・ボランティアによる宅配サービスを推進する。		
事業の成果	・ 障害者週間イベント、公民館講座、図書館のイベント等で点字体験を行い(障害者週間イベント12月3日(日)約40名、公民館講座3月2日(金)・9日(金)受講者約20名、図書館体験イベント8月9日(水)11名・3月14日(水)6名)、合わせて障害者サービスの利用案内を配布しPRを行った。障害福祉課や公民館等他機関との連携ができ今後PRするための道すじを作ることができた。 ・ ボランティアによる宅配サービスは館内掲示ポスターをわかりやすい記載に新しくしたこと等により、新規ボランティアの登録につながり、職員にはできない休日に配達いただくなど利用者のサービス向上につながった。 ・ 小学校4年生を対象にした出張点字授業を、市内7小学校18クラスに対し実施した。点字体験を通して児童が障害者理解について考える機会となった。		
図書館協議会の意見	・ サービスを広げるために外とのつながりを重視して活動されている点を評価したいと思う。障害の種類や程度によって幅広いサービスが必要になると思うが、サービスが行き届かない方が一人でも減るように、今後も随時情報を集めていただきたいと思う。 ・ 様々なイベントに出向き、積極的に障害者サービスのPRをおこなっていることは、評価できる。市内の障害者施設の方々の要望も話し合うといいと思う。 ・ 小学校へのお出張点字授業を通して、子どもたちが障害者への理解をさらに発展できることを望む。 ・ 宅配サービスがどのような手順で行われているのか、具体的にわかるとボランティア登録へのハードルが下がるのではないと思う。館報ひろばや広報ひのなどで宅配の流れがわかるような記事があるとよいのでは。 ・ 休日にも配達をお願いできるボランティア活動は、良い取組である。 ・ 宅配ボランティアの増を評価し、PRを含め充実を期待する。		
事業の課題と改善策	【課題】 ・ サービスを知らないという人が一人でも減るよう、必要な人へ届くサービスのPR。 ・ 宅配サービスの利用希望者とボランティア希望者のバランス。 【改善策】 ・ 民生委員の方々を通じて障害者サービスを紹介していただくなど、必要とする人にサービスが届くよう、積極的にPRする。 ・ 宅配サービスについて、利用希望者とボランティア希望者がバランスよく集まるようなPR方法を、検討する。「館報ひろば」など、サービスのわかりやすい説明を掲載する。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	資料の選択・収集	事業番号	10
事業の概要	・資料の選択・収集・除籍を通じて、市民に役立つ蔵書構成を目指す。 ・選書基準・廃棄基準を作成する。 ・電子書籍を研究する。 ・外国語資料を収集する。		
事業の成果	・知的障がいや日本語が母語でないなど、文字を読むことが苦手な人でも読めるよう工夫された本『LL(スウェーデン語の「レットラスト」の略でやさしく読めるの意)ブック』を9タイトル、大型絵本84タイトルを受入し、各館に配置した。 ・異聖歌や紫波町に関する資料として通常の入手が難しい本を古書で72タイトル購入し、市政図書室に配置した。 ・選書基準・廃棄基準作成委員会の会議を年11回開催し、選書基準と廃棄基準を検討した。 ・電子書籍導入検討委員会の会議を年13回開催し、現段階における日野市立図書館における電子書籍貸出サービス導入の方向性を示した。 ・中国語および韓国語の絵本(日本語版を所蔵済のもの)を18タイトル収集した。		
図書館協議会の意見	・様々な本を収集したことを評価する。さらにPRを行い、内容を見てもらえる企画を進めてください。 ・LLブックの今後の利用状況が知りたい。 ・市民目線による使いやすい図書館を目指していると評価できる。 ・「市民に役立つ蔵書構成を目指す」のであれば、所蔵資料の分野別配分比率、今後は、年度ごとの購入資料の分野別配分比率を出して検証してみることが大事では。 ・利用者の購入希望とどううまくマッチングできるか工夫してほしい。		
事業の課題と改善策	【課題】 ・多様なニーズに応えるため、新たな種類の資料を収集したが、必要とする人に届くようPRが必要。 ・蔵書構成の点検・見直しが不十分である。 【改善策】 ・様々な資料が図書館にあることやその内容を知ってもらえるよう、図書館ホームページや「館報ひろば」、各館での展示等で紹介しPRする。 ・資料が、必要とする人に届くよう、図書館未利用者への広報を工夫する。 ・所蔵資料や購入資料の分野別配分比率を検証する。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	予約・リクエスト・相互貸借	事業 番号	11
事業の概要	リクエスト資料の提供率を維持・向上する。		
事業の成果	① 業務の効率化をすすめる。 新年度から開始できるよう、電子申請リクエストの申請方法を変更し、スマートフォンからもリクエストができるようにした。受付方法も簡略化(受付の作業が不要になった)したため、業務の効率化をすすめることができる。 ② 区部とのWEB予約対応を検討する。 区部とのWEB予約対応を検討し、本の状態等を確認する必要がある資料の予約が多いことから、FAXでのやりとりの方が効率的なことがわかった。* 平成29年度 借用冊数は都立図書館が3,657冊、区部は522冊、市町村は4,577冊、(平成28年度 借用冊数は都立図書館が2,764冊、区部は765冊、市町村は5,462冊)		
図書館協議会の意見	・ 使いやすさをさらに向上させてください。 ・ 区部とのWEB予約対応について、実際の業務を考えて検討した結果、FAXでのやりとりとなったことが説明を聞くことで納得ができた。 ・ 業務の効率化と共に、時代の流れに見合った方法の導入は必要であり、スマートフォンでのリクエストは市民にとっての利便性に優れている。		
事業の課題と改善策	【課題】 ・ リクエスト業務について図書館各館における課題の共有と改善。 ・ 所蔵していない本でも都立図書館・都内公共図書館・国立国会図書館等から借用が可能なことをPRをする。 【改善策】 ・ 各館の担当者による協議の場を設け、リクエスト業務の課題を共有し、改善につなげる。 ・ リクエストサービスについて窓口や図書館HP等で広報する。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	レファレンスサービス	事業番号	12
事業の概要	電子化資料(オンラインデータベース・国立国会図書館デジタル資料)の利用を促進する。		
事業の成果	・ 9月30日(土)～10月6日(金)、七生支所通路側モニターで、レファレンスサービスとオンラインデータベースについてのPR動画を放映し、PRに努めた。 ・ オンラインデータベースの利用、特に中央図書館での国立国会図書館デジタル資料の印刷利用が増加した。 国立国会図書館デジタル資料の利用 平成29年度 67件(中央利用37件)複写47件 4,426枚(白黒4,349枚、カラー77枚) 平成28年度(印刷開始は8月から) 34件(中央利用 5件)複写 8件 299枚(白黒 283枚、カラー16枚)		
図書館協議会の意見	・ 七生支所で放映したレファレンスサービスなどについてのPR動画をほかでも見られるとよいと思う。もっと多くの人に知ってもらえたらよいのではないかと。高校生、大学生など、今後デジタル資料の利用が増えていく世代に知らせていくことも大切では。 ・ レファレンスサービスとオンラインデータベースのPRは、継続的に行うのが良い。 ・ 国立国会図書館の資料を、広く市民が利用できることを期待する。		
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 図書館の機能としての、レファレンスサービスがまだ知られていないため、何ができるのかわかりやすいPRを行う必要がある。 【改善策】 ・ レファレンスサービスとオンラインデータベースのPRスライドショーを作成し、図書館の中だけでなく、様々な機会・場所で紹介する。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	地域・行政資料(市政図書室)	事業番号	13
事業の概要	地域情報の発信を強化する取り組みとして、 ・図書館ホームページの「日野市についてよくある質問(レファレンス事例集)」の更新・拡充 ・地域・行政資料の電子化の検討・準備を進める		
事業の成果	・「桑ハウス(旧農林省蚕糸試験場日野桑園第一蚕室の通称)」が6月28日に国の登録有形文化財に指定されたことを機会に、日野市の養蚕業や桑ハウスを紹介した資料をリスト化。「桑ハウスについて調べたい」の項目を新規に作成し、レファレンス事例集に追加した。市政図書室や最寄りの日野図書館の関連資料の利用増につながった。 ・レファレンス事例集に掲載している資料のチェックを随時行い、日野市の用水や石碑等の新たな資料を追加した。 ・地域・行政資料の電子化の先進事例を調査し、西東京市中央図書館のデジタル化委託事業を視察した。 ・次期(平成31年1月を予定)図書貸出システムでの「デジタルアーカイブ」の導入をめざし、検討を開始した。		
図書館協議会の意見	・常に日野市についての情報をキャッチし、利用者のニーズに合った情報発信は、評価できる。デジタルアーカイブの導入に期待する。 ・ホームページにおけるレファレンス事例集の充実は、利用促進に結びつくと考え。今後も随時、情報を更新してほしい。 ・「たき火」を縁に紫波町や中野区とのつながりが広がっていている様子を、職員の方の熱意が感じられた。 ・事業の成果を評価する。姉妹都市レッドランズ市の資料も所蔵してほしい。(高校生向けに)		
事業の課題と改善策	【課題】 ・デジタルアーカイブの手法と対象資料の本格的な検討と決定。 ・姉妹都市レッドランズ市の最新の資料・情報の収集。 【改善策】 ・デジタルアーカイブの先進事例を研究する。昭和期を中心に日野市刊行物の劣化度を調査し、電子化する優先順位を決める。 ・シティセールス推進課や日野・レッドランズ姉妹都市協会等と連携して最新の資料・情報の収集と発信を行う。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	各館での取組み(中央図書館)	事業番号	14
事業の概要	・ 図書館でイベントを開催することで、利用促進につなげる。 ・ 子ども向け夏休み企画「みんなで鉢植えを育てよう」の実施(8月1日～8月31日) ・ 地域館のサポート		
事業の成果	・ 『中央図書館で楽しむTOYODA BEER』の開催 ・ 11月18日(土) 午後5時15分～午後7時 ・ 豊田地域やビールに関する本を図書館資料から集めて展示するとともに、郷土資料館から豊田地域の昔の写真パネル、産業振興課からTOYODA BEERに関するチラシ・パネルを借用して展示した。本の貸出しも行った。 ・ 地元商店により館内でTOYODA BEERを販売。来場者約90名。TOYODA BEERや豊田地域について関心をもってもらうことができた。 ・ 8月1日から8月31日まで、夏休みにおすすめの本を市民に紹介してもらうコーナーを設置した。「本のタイトル」や「コメント・感想」等をあさがおの葉を模した紙に書いて貼ってもらい、あさがおを成長させていく仕掛けを作った。100名以上の参加があり、天井に届くまでに育った。紹介されている本に興味を持ったり、紹介するために新たに本を読んだり利用促進につなげることができた。 ・ 各図書館から未解決の調べものを中央図書館の豊富な資料を用いて調査し、回答の手助けを行った。		
図書館協議会の意見	・ 良い企画を評価します。 ・ 「TOYODA BEER」のイベントにしても、「みんなで鉢植えを育てよう」の企画にしてもアイデアが素晴らしいと思う。日ごろ図書館を利用しない人が足を運ぶきっかけになったり、その後の様子を見ようと再度訪れるのが楽しみになったり。中央図書館のこのような取り組みは地域館にも刺激になるのではないだろうか。 ・ 夏休みのコーナー設置の発想がとても素晴らしい。何度も図書館に足を運びたい企画である。 ・ 利用促進のために、様々なイベントを企画・開催し、市民が参加しやすい場が作られることを期待する。		
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 日頃、図書館を利用しない人が足を運ぶきっかけとなるようなイベントの開催 【改善策】 ・ 図書館単独ではなく、他部署等と共同でイベントを開催できないか検討する。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	各館での取組み(高幡図書館)	事業番号	15
事業の概要	・若い世代の来館が多いので、読書につながるサービスを充実させる。 ・エレベーター修繕の実施。		
事業の成果	・幼稚園1園、保育園1園からの希望により、来館によるおはなし会を12回実施した(平成28年度は2園13回)。 ・教育センター内にあるわかば教室(日野市適応指導教室)の小中学生(14名・先生7名)の来館時に、読み聞かせ・ブックトーク・図書館案内を行った。 ・児童の新刊図書展示を児童室入り口の目立つ場所に変更し、いっそうの利用を促した。 ・通常のテーマ展示とは別に、平成30年1月に亡くなった児童文学作家アーシュラ・K・ル＝グウィン(アール・グウィン)のミニ展示を行い(2月1日～2月28日)、児童だけでなく成人への利用も促した。 ・ヤングスタッフが作成した本の案内チャートを学生の利用が多い2階学習スペースに展示し、読書に興味を持ってもらえるよう工夫した。 ・老朽化したエレベーターの修繕を、休館はせず実施した(3月12日(日)～3月25日(土))。		
図書館協議会の意見	・資料提供に続く企画を大いに評価する。 ・若い世代の積極的な来館の受け入れは、将来の利用者増加につながる、大切な事業であり、これからもどんどん受け入れを実施して欲しい。 ・児童の新刊図書展示の場所を変えたことで利用促進につながったとのこと。当たり前になっていることも少し見直すだけでよりよくなることがわかった。今後も従来のやり方にとらわれずに、より使いやすい図書館を目指してほしい。 ・わかば教室の皆さんへの読み聞かせやブックトークは今後も継続して行ってほしい。読書が子どもたちの支えのひとつになってくれることを願う。 ・ヤングスタッフの活躍を評価する。PRしてほしい。		
事業の課題と改善策	【課題】 ・幼稚園、保育園、わかば教室の来館受け入れを今後も継続していくこと。 ・学習スペースのみの利用にとどまる学生に、開架室に足を運んでもらえるようなはたらきかけ。 【改善策】 ・幼稚園、保育園、わかば教室へ、毎年図書館利用をはたらきかけていく。 ・ヤングスタッフの制作物等を今後も活用し、若い世代に向けて発信していく。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	各館での取組み(日野図書館)	事業番号	16
事業の概要	・地域住民と協働で日野宿発見隊事業に取り組む。 ・市民と資料が出会う機会の創出。		
事業の成果	①日野宿発見隊 ・ 5月13日(土)、新選組まつりに合わせて「スタンプラリーin日野宿2017」を実施。雨天であったが、217名に参加していただいた。 ・ 7月29日(土)、「夏休み！親子で調べよう日野用水」を実施。参加者54名(スタッフ含む)。 ・ 10月10日(火)、日野第一中学校との共同用水清掃を実施。生徒、教員約100名が参加。 ・ 12月2日(土)、「日野宿ミステリーツアー」と銘打ち、宿内の旧家を巡り地域の方の話を伺った。参加者14名。 ・ 3月26日(月)、まち歩き会「日野宿の野草を探しに」を実施。大人9名児童4名が参加。 ・ ホームページ及びツイッターによるまちの話題の情報発信とその広報(QRコード付ポスター掲示・チラシ配布)を実施。 ②市民と本が出会う機会の創出 ・ 本の展示コーナーを新設し、毎月異なるテーマで展示を実施。展示資料は貸出しにつながった。 ・ これまで行っていなかった、おはなし会の開催準備を行った。 図書館協議会の意見 ・ 協働での企画大いに評価します。また平成30年度は「おはなし会」を実施予定とのこと。今後が楽しみだ。 ・ 地域になじんだ図書館として、日野図書館ならではの取組みが市民とともに盛んにおこなわれていて地域の顔となっている。日野第一中学校との連携は今後も継続して欲しい。 ・ 展示コーナーはスペースこそ小さいが、思わず手にとりたくなるレイアウトやテーマで存在感がある。 ・ 周辺の中央公民館などとの協力も評価する。 ・ 様々なイベントを実施し、「地域館」と呼ぶにふさわしく、「地域館」としての役割をしっかりと果たしている。 ・ 市民が日野宿に関心をもつきっかけとして、図書館の役割は大きいと考える。 事業の課題と改善策 【課題】 ・ 日野宿発見隊の継承 ・ おはなし会の定着 【改善策】 ・ 日野宿発見隊では、さらに地域の方に喜ばれる企画を地域の方とともに立案し実施する。 ・ おはなし会を開催し、参加者の状況に合わせ、内容・PRを工夫する。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	各館での取組み(多摩平図書館)	事業番号	17
事業の概要	複合施設の特性を活かし、多摩平の森ふれあい館内の施設と連携した活動を実施する。		
事業の成果	『多摩平の森ふれあい館まつり』に参加した(2月10日(土))。ふれあい館に設置されている施設やふれあい館で活動している団体が、それぞれの活動を広く市民に知ってもらうことを目的として、それぞれが企画したイベントを同時開催したものである。以下3点を多摩平図書館として実施した。 ・「リサイクル資料の頒布」 保存年限の過ぎた雑誌や児童書を中心に、約2,000冊が再活用された。 ・ 子ども家庭支援センターの「子ども劇場」に図書館職員が参加し、絵本の読み聞かせを行った。 ・ 男女平等推進センターと市民サポートセンター日野の共同事業「パパのためのキッズヘアカット講座」へ関連する図書館の資料を会場に展示。参加者が希望したら、図書館で貸出し手続きをしてもらえよう案内を依頼した。 リサイクル資料の頒布場所を1階(雑誌)と2階(児童書)に分けることで、リサイクル資料を目当てに来館した方が子ども劇場やキッズヘアカット講座に参加するなど参加者の動きを誘い、施設内で連携した活動ができた。		
図書館協議会の意見	・ 「多摩平の森ふれあい館まつり」では参加他団体との連携でより充実した内容になっている。このおまつりに限ったことではないが、これからは他団体とのコラボレーションといった、枠を超えた連携が重要になっていくように感じる。 ・ 複合施設の特性を活かした活動が工夫を凝らして実施できていることは、素晴らしい。今後も複合施設の特性を生かした取組を企画・運営されることを望む。 ・ イオンモールと一緒に皆さんが最も集まりやすい場所です。行事に活用できればよいと思う。		
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 多摩平の森ふれあい館内の施設間の連携は進んでいるが、ふれあい館まつりだけでなく、日常の業務でも連携できる工夫が必要 【改善策】 ・ 子育て関連施設(児童館や子ども家庭支援センター)からは依頼を受けて、本を通じた子育てなどの講座の講師に図書館職員を派遣しているが、相互に事業のPRを行うなど、今後も連携をすすめた活動ができるようにしていく。 ・ 館内の施設だけでなく、近隣の保育園や幼稚園などとも連携した活動ができるよう、PRに努めていく。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	各館での取組み(平山図書館)	事業 番号	18
事業の概要	・ 医療情報提供サービスの一環として、闘病記コーナーを設置する。 ・ 地域の情報センターとして、地域に関する情報発信を拡充する。		
事業の成果	・ 平成29年10月から、医学書の書架を1連増やし、それまでエッセー等の書架に分散していた闘病記を集め、コーナーを設置した。図書は「がん」「脳の病気・介護」「こころの病気」「子ども・先天性の病気」「その他の病気」に分けて背表紙に色ラベルを貼った。患者や家族が、病気との向き合い方を考える手がかりとなり得る図書を、見つけやすくすることができた。図書冊数は平成30年4月末現在、186冊。 ・ 1階玄関ホールにあった、住民票等自動交付機が平成29年3月末で廃止・撤去されたことに伴い、その跡に、それまではブラウジングコーナーにあった、イベント等のチラシを移し、より多くの方の目に触れるようにすることができた。 ・ 平成30年3月から、1階通路に、平山季重まつりの大型横断幕を展示する機会と郷土資料館の協力を得て、平山季重を紹介するパネルを展示し、平山季重についてより多くの方に知っていただく場所を、常設で設置することができた。		
図書館協議会の意見	・ PRを重ね、発信に努めてほしい。 ・ 駅前立地を生かしてほしい。 ・ 闘病記コーナーは独自性があると思う。目立つ必要はないと思うが、せっかくのコーナーなので、市内医療機関の待合室などにその存在を知ってもらえるような工夫ができないだろうか。 ・ 地域の情報センターとしての機能が、図書館への利用につながるとよいと思う。ロビーに新刊や子育て関連の本を紹介するなど、図書館利用以外で来館した方にも図書館の存在をアピールできるとよいのでは。 ・ 地元を目を向ける機会をつくることは、良いことである。		
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 闘病記コーナーのPR ・ 図書館利用以外の目的でふれあい館に来館する市民への、図書館のPR 【改善策】 ・ 医療関係機関に、闘病記コーナーをPRする。 ・ 玄関ロビーに、図書館が発信するコーナーを設ける。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	各館での取組み(百草図書館)	事業番号	19
事業の概要	・ 地域の方々と情報共有し、生活の中での身近な図書館として利用されるようにPRを行う。 ・ 子どもたちによる百草図書館での取組みを利用者に伝える。 ・ 駅前にある立地を生かし、気軽に立ち寄ってもらえるような利用しやすい空間を作る。		
事業の成果	・ 落川交流センター、小島善太郎記念館、子育てカフェモグモグ、かるがも文庫など地域の拠点へ出向き、図書館のPRを行った。また、モグモグでは、出向いて読み聞かせを行ったり、おはなし会のチラシやお便りの情報交換をするなど、乳幼児を持つ保護者の居場所としてお互いに紹介しあい、児童書の貸出増加につなげることができた。 ・ 七生緑小学校4年生4名と日野第三中学校2年生2名の職場体験、夏休みジュニアスタッフ(三沢中学校2名)の体験を受け入れ、児童生徒にお勧めの本のPOPやしおりなどを作成した。館内に展示し、利用者の方にも関心を持ってもらえた。 ・ 2月～3月の2か月間、館内BGMを試行した。よりくつろいでいただける空間を模索し、クラシックやインストゥルメンタルミュージックを館内に流し、利用者にアンケートを実施した。BGMはやめてほしいという方もいたが、その約4倍の方が続けてほしいという回答だった。また、BGMがあることで、普段本しか借りていなかった方がCDを借りていく姿も見られた。様々な意見を今後利用者の方とともに、展開させていきたいと考えている。 ・ ボランティア袋やおむつ袋の配布を行っている事を玄関に掲示したところ、そのために初めて図書館に来館される方がいた。		
図書館協議会の意見	・ 積極的に地域のさまざまな拠点の情報を集め、訪問し、図書館のPRを行っている点を評価したい。BGMの試行など、市民に開かれた運営はとても大切だと思う。それによって、より図書館を身近に感じられる市民が増えると思う。 ・ 館内BGMの今後の動向が気になる。 ・ 地域の拠点に出向く活動は、「地域館」としてとても大切であり、今後の百草図書館の発展が楽しみである。 ・ 2階なのでPRして入りやすくなるような工夫をしてほしい。地域の拠点施設とも協力することを希望する。		
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 館内BGM試行を経ての今後の展開。 ・ 1階入り口の図書館の案内を充実させ、2階へいざなう工夫。 【改善策】 ・ BGMアンケート結果をまとめ、利用者へ向け発信するとともに、くつろげる雰囲気 of 図書館づくりを利用者の方と共に作っていく。1階自動ドアの図書館案内に工夫をし、図書館の存在をさらにPRをする。 ・ 地域の各施設と今後も連携して、顔の見える関係づくりに努め、利用者の身近な図書館を目指す。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	各館での取組み(移動図書館)	事業番号	20
事業の概要	・ 移動図書館のサービス拡大に向けて取り組む ・ 図書館の利用促進に向けたPR活動に取り組む		
事業の成果	・ 新たな巡回先(旭が丘地区センター)増便のための事前準備を行った。 - 第2・4水曜日10時から12時に巡回し、①本の貸出し、②地区センターへの団体貸出、③巡回日には地区センター集会所にて地域のボランティアの方による本の読み聞かせを行うことを決めた。団体貸出用資料の選定・購入、読み聞かせボランティアを公募して11名の方に登録していただき、登録者全員に図書館職員が絵本の読み聞かせの研修を行った。新たなサービス開始の準備を整えることができた。 ・ 学園祭や各種イベント等に参加して図書館のPRを行った。 - イベントへの参加やメディアにも取り上げていただくなど、図書館PRに効果をあげることができた。 - イベントでは、本の貸出しだけでなく、ひまわり号紙工作やぬりえ、その他子ども向けの工作、ひまわり号パネル展などを行った。 【参加したイベント】 1. 「手をつなごうこどもまつり2017」10月8日(日) ・ 実行委員会(全6回)に出席して関係各課や参加する団体と協力して事前準備などを行った。 ・ ひまわり号を人目につくところに配置したことで、多くの方で賑わい、閲覧だけでなく、本の貸出しにもつながった。 2. 「豊田ふれあいフェストTOYODAてしごとマーケット」10月28日(土) ・ 豊田車両まつり2017(JR東日本)に合わせて行ったため、日野市民だけでなく、通りがかる多くの方がひまわり号の写真を撮っていた。移動図書館の活動を広くPRすることができた。 3. 「星友祭」(明星大学学園祭)11月4日(土) ・ 明星地区へは以前巡回していたこともあり、ひまわり号の写真パネルを懐かしく見て行かれる方が多かった。 【メディア、その他】 1. テレビ放映 日野市情報番組「ひののソコンとこ調べといて」(J:COM)10月放送→YouTubeでも視聴可能 2. 書籍掲載 「げんきの絵本 はたらくるまシールずかん」(講談社)2017年4月発行 「のりもの あいうえおずかん」(講談社)2017年8月発行 図書館協議会の意見 ・ サービスの拡大・新展開を期待する。 ・ 「第3次日野市立図書館基本計画」に掲載の「移動図書館ひまわり号利用者アンケート調査結果」P52にある「移動図書館のほうが使い勝手がいい」という回答に注目した。「多くのジャンルの本を見渡せて選べるのが楽しい」とある。特定の資料ではなく「何か面白い本を」求めてやってくる人にとっての図書館利用の醍醐味はここにあるのではないかと。いかに蔵書構成し、いかに棚揃えすべきかを考える上で銘すべき言葉ではないか。 ・ 旭が丘地区センターへの巡回は様々な面で新しい試みが多く、これからのモデルになっていくのではないと思う。人と人とのつながりが生まれる拠点として機能していくことを期待している。今後の活動状況が楽しみである。 ・ 移動図書館の存在を知らない市民もまだたくさんいるので、さらなるPR活動で利用者を是非増やしてほしい。 ・ ケーブルテレビでのPRの機会があれば積極的に取り組んでほしい。 事業の課題と改善策 【課題】 ・ 巡回のPR ・ 各イベントに合わせた取り組み ・ ひまわり号の宣材写真がやや古く、掲載する写真もマンネリ化している。 【改善策】 ・ 市のホームページや広報ひの、図書館報「ひろば」等への掲載により、広く市民に対して巡回のPRを行う。 ・ 旭が丘地区センターの巡回開始については、地域協働課と連携し、地域の広報板への掲示と回覧板による地域住民へのPRを行う。 ・ イベントによってはリサイクル資料の配布を行う。 ・ 各サービスポイントごとに写真を撮り直し、図書館HPの施設案内を更新する。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	図書貸出管理システムの更改	事業番号	21
事業の概要	平成30年12月に満了する図書貸出管理システムの更改に向けて、情報を収集し、他市や業界の動向などを調査・研究し、システムの最適化を目指す。		
事業の成果	・ ネットワークの一部に不具合が生じていることや、学校との連携においてシステムがうまく機能していなかったこと、利用者機能の不便さ(スマートフォン画面未対応等)、等の課題を確認。「現行システムありき」ではなく、他市の動向、業界の動向を研究し、利用者の利便性の向上、移動図書館オンライン化による業務の効率化等の実現に向けて準備できた。 ・ 蔵書規模、現行図書館業務の運用に耐えるシステムパッケージを扱う有力5社に見積もりを依頼した。デモンストレーションや人員体制を確認するため、情報システム課と連携し、各社を視察した。プロポーザルによる事業者選定を行うための実施要綱、仕様書、機能要件書等を策定した。 ・ 他社のシステムを利用している他市(稲城市、調布市、国立市、瑞穂町)の担当者に直接ヒヤリングし、各システムのメリット・デメリットを聞くことができた ・ 初めてプロポーザルによる企画提案競技を2社により行った。。		
図書館協議会の意見	・ システムの更改はサービス展開の良い手段になります。大いに期待する。新システムでは、時代の変化に合わせた改善が盛り込まれており実現に期待する。 ・ 他社のシステムを利用している他市にヒアリングを実施するなど、システムの最適化を目指す堅実な姿勢がみられ、評価できる。 ・ IT技術の活用は時代の流れですが、問題はコストである。市民の協力も検討してほしい。		
事業の課題と改善策	【課題】 ・ WebOPACがスマートフォン対応になっていない。 ・ 学校図書館システムとの連携 ・ システム構築のコストが高い 【改善策】 ・ 利用者機能の向上(スマートフォン対応、簡易アーカイブ機能、コンテンツ管理による情報発信機能)を図る。 ・ 学校との情報共有システムを導入し、運用を開始する。 ・ 情報システム課と連携することで、システム構築コストのチェックを図る。		

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	広報	事業番号	22
事業の概要			
図書館サービス・事業を様々な媒体によりPRする。			
事業の成果			
・ 館報ひろば 館報ひろばを毎月1, 574部作成し、図書館内での配布のほか市内各部署や関係機関204箇所へ送付した。 イベント時に積極的に館報ひろばを配布し、図書館のPRに努めた。 館報ひろばの特集号「ザ・昭和」を作成・配布し、図書館の資料を紹介することで図書館利用をPRした。 ・ イオンモールのフードコートに設置されているデジタルサイネージを利用し、子育て世代向けの図書館イベントを幅広くPRすることができた。 ・ 七生支所通路側モニター 毎月1日～7日図書館の利用方法やイベントの広報を行った。図書館に来館されない方にもPRすることができた。 ・ 図書館ホームページ 「ヤングスタッフ活動日誌」の掲載を始め、図書館事業を積極的に掲載した。 不要ページの削除を行い、目的の情報にたどり着きやすいホームページを目指した。			
図書館協議会の意見			
・ 館報ひろばをはじめ、様々な方法で、引き続き図書館の存在を広めていって欲しい。 ・ 乳幼児サービスとして行われている「絵本パック」の貸出が地域紙「ショッパー」に掲載され、興味を持って記事を読んだ。新聞の多摩地域欄をはじめとして、「ショッパー」や「アサコ」のような地域紙にもっと取り上げてもらってはどうか。「中学生と作家の交流事業」なども広く知ってもらいたいと思う。「お知らせ」の意味だけでなく、市民にとって地元の話が掲載されることはとてもうれしいことだと思う。 ・ 「館報ひろば」は各館でのイベントなど、情報が満載で図書館の広報誌として充実した内容になっている。その良さをもっとアピールできれば良いと思う。 ・ ネット社会を念頭に置き、ホームページの一層の充実が求められる。 ・ 市民の中へ入るためにもホームページや掲示など工夫してほしい。			
事業の課題と改善策			
【課題】 ・ 図書館ホームページの利用者機能向上 ・ 図書館報ひろばの充実 ・ 広報手段の多様化 【改善策】 ・ 【ホームページ】システムの更新に伴い、利用者機能向上を目的にホームページをリニューアルする ・ 【図書館報ひろば】新しい本の紹介にて掲載する内容を増やす ・ 【多様化】地域コミュニティー誌への情報提供			

<参考資料>

I. 図書館事業のあらまし

1 奉仕実績

(1) 蔵書状況(蔵書数)

① 図書

区 分	蔵書冊数	年間受入冊数	年間除籍冊数
成人図書	647,105	27,529	27,741
児童図書	176,713	11,093	7,069
計	823,818	38,622	34,810

②CD・ビデオ等

資料名	保有数
C D	4,815
カセットテープ	515
D V D	540
ビデオソフト	174
レコード	5
計	6,049

③雑誌・新聞

	購 読 新 聞	雑 誌		
		購入	寄贈	合計
中 央 図 書 館	16	207	39	246
高 幡 図 書 館	10	117	4	121
日 野 図 書 館	6	89	3	92
多 摩 平 図 書 館	9	168	3	171
平 山 図 書 館	6	83	6	89
市 政 図 書 室	14	66	43	109
百 草 図 書 館	7	106	2	108
移 動 図 書 館	0	43	0	43

(2) 利用者数・貸出点数

① 利用登録者数

成人（人）	児童（人）	登録者総数（人）	登録率（％）
31,165	5,457	36,622	19.82

※登録率は、登録者数を4月1日の総人口で除して算出

② 延べ利用者数、開館日数

館 名	延べ利用者数	開館日数
中 央 図 書 館	75,886	314
高 幡 図 書 館	92,618	314
日 野 図 書 館	66,172	314
多 摩 平 図 書 館	137,839	314
平 山 図 書 館	45,494	314
市 政 図 書 室	5,174	293
百 草 図 書 館	34,766	314
移 動 図 書 館	3,667	—
計	461,616	—

③ 個人貸出点数

区 分	成人図書	児童図書	CD・ビデオ	計
中 央 図 書 館	194,265	97,487	822	292,574
高 幡 図 書 館	213,170	86,914	691	300,775
日 野 図 書 館	152,372	90,085	486	242,943
多摩平図書館	317,953	170,481	9,295	497,729
平 山 図 書 館	104,705	34,757	375	139,837
市 政 図 書 室	11,729	2,703	96	14,528
百 草 図 書 館	77,957	31,785	3,633	113,375
移 動 図 書 館	12,595	8,681	22	21,298
計	1,084,746	522,893	15,420	1,623,059

④ 移動図書館・駐車場別貸出数

駐 車 場 名	貸出冊数	駐 車 場 名	貸出冊数	駐 車 場 名	貸出冊数
シティハイツ日野旭が丘	3,259	新井わかたけ公園	846	貉谷戸公園	1,008
西平山第1公園	1,430	さいかちぜき公園	716	万願寺中央公園	1,123
緑ヶ丘公園	872	大坂西公園	425	ちょうまんびら公園	770
市営向川原団地	1,517	新坂下公園	846	七ツ塚公園	930
百草団地アポロ広場	1,216	都営日野栄町二丁目アパート	305	〈注〉その他、イベントでの貸出数が合計 155	
水車公園	1,767	松風公園	829		
ほほえみ公園	1,012	南平丘陵公園	750		
小構コーポ佐野前	695	万願寺渡西公園	827	貸出総冊数	21,298

駐車場数	20カ所	延べ巡回回数	445回	一駐車場平均貸出冊数	1,057.2冊
年間利用者数	3,601人	一駐車場平均巡回回数	22.3回	一駐車場一巡回当たり	
貸出冊数	21,143冊	平均利用者数	8.1人	平均貸出冊数	47.5冊

⑤ 団体貸出点数

区 分	成人図書	児童図書	CD・ビデオ	計
中央図書館	148	1,079	0	1,227
高幡図書館	47	1,643	0	1,690
日野図書館	228	1,877	0	2,105
多摩平図書館	86	2,718	1	2,805
平山図書館	12	1,034	0	1,046
市政図書室	0	0	0	0
百草図書館	83	1,746	0	1,829
移動図書館	1,181	20,490	0	21,671
計	1,785	30,587	1	32,373

⑥ 京王線沿線7市図書館連携事業

日野市民の他市図書館利用	新規登録者	貸出冊数
	595人	65,619冊
他市市民の日野市立図書館利用 (八王子・府中・調布・町田・多摩・稲城)	新規登録者(人)	貸出冊数(冊)
	514人	58,857冊

(3) リクエストサービス(処理件数)

	図書			雑誌			視聴覚	合計
	所蔵	借用	小計	所蔵	借用	小計	所蔵	
中央図書館	15,169	1,371	16,540	1,603	114	1,717	111	18,368
高幡図書館	18,085	2,399	20,484	907	128	1,035	70	21,589
日野図書館	9,196	1,021	10,217	822	54	876	33	11,126
多摩平図書館	17,441	2,221	19,662	1,282	78	1,360	149	21,171
平山図書館	6,295	694	6,989	1,057	37	1,094	44	8,127
市政図書室	896	133	1,029	73	11	84	8	1,121
百草図書館	5,119	614	5,733	436	13	449	71	6,253
移動図書館	1,005	55	1,060	41	3	44	0	1,104
O P A C	25,059		25,059	2,499		2,499	236	27,794
W E B (注1)	311,241		311,241	31,551		31,551	3,127	345,919
合計	409,506	8,508	418,014	40,271	438	40,709	3,849	462,572
上記受付数中、 電子申請(注2) による受付数			2,116					2,116

注1) 図書館のホームページを使ったリクエスト

注2) 東京都及び市区町村が共同で組織する東京電子自治体共同サービスを使った電子申請によるリクエスト

(4) 参考調査

① レファレンスサービス(文献調査)

区分	日野市 関係	多摩・東京 関係	地方行政関 係	一般 主題	計
中央図書館	318	155		650	1,123
高幡図書館	29	13		199	241
日野図書館	55	4		146	205
多摩平図書館	32	8		226	266
平山図書館	16	7		128	151
市政図書室	885	105	158	184	1,332
百草図書館	12	10		209	231
計	1,347	302	158	1,742	3,549

※地方行政関係は、市政図書室のみでカウント。他の館では一般主題といっしょにカウントしている。

② コピーサービス

館 名	カラー枚数(枚)	白黒枚数(枚)	調定済金額(円)
中 央 図 書 館	1,161	33,165	378,090
高 幡 図 書 館	840	22,039	253,990
日 野 図 書 館	645	7,518	100,980
多 摩 平 図 書 館	2,172	14,913	236,010
平 山 図 書 館	1,233	11,367	162,990
市 政 図 書 室	598	6,789	91,810
百 草 図 書 館	384	7,407	89,430
計	7,033	103,198	1,313,300

(5) 児童・青少年サービス

① おはなし会

(定例おはなし会)

会 場	開催日	回数	参 加 人 数				
			0才 〜	3才 〜	小学生	小計	大人
中 央 図 書 館	毎月第4木曜日	12	105	—	—	105	99
	毎月第2水曜日	12	—	53	32	85	61
高 幡 図 書 館	毎月第1・3水曜日	23	177	93	93	363	276
多摩平図書館	毎月第2木曜日	12	278	—	—	278	280
	毎月第4水曜日	12	—	86	66	152	94
平 山 図 書 館	毎月第3木曜日	12	71	—	—	71	73
百 草 図 書 館	毎月第4金曜日	12	69	39	16	124	100

※おはなし会の開始時間

0～2歳児	午前10時30分～ (中央、多摩平、平山)
	午後3時～ (高幡、百草)
3歳～	午後3時30分～
小学生以上	午後4時～

(出張おはなし会)

訪問先	合計回数
17 施設 (保育園・子育てひろば・児童館・ 学童クラブ・小学校・子ども家庭支援センター)	30 回

② 「子ども読書の日」関連事業(おはなしピクニック)

行 事 内 容	開催月日	備考
「としょかんおはなしピクニック 2017」 「小林敏也氏幻燈会」 「画本宮澤賢治シリーズ」作品の 幻燈上映と朗読 他	4月23日(日)	多摩平の森ふれあい館 のべ 231 人参加 (大人・子ども合わせて)

③ 保護者向け本の紹介

開催月日	会場	参加者数(人)
5月19日(金)	高幡図書館	13
6月29日(木)	中央図書館	18
9月22日(金)	多摩平図書館	9
10月10日(火)	平山図書館	1
11月10日(金)	百草図書館	3
合計		44

④ 読み聞かせ入門講座

行 事 内 容	開催月日	備考
集団に対する読み聞かせの仕方、本の 選び方、参考図書の紹介、実習	6月1日(木)	会場：中央公民館 18人参加

⑤ 学校訪問

毎年、図書館職員が市内小学校の3年生のクラスを訪問し、市立図書館の利用案内・本の紹介・絵本のよみきかせ・昔話の語り等を行っている。

月・日	学校名	月・日	学校名
5月12日(金)	夢が丘小学校	6月22日(木)	東光寺小学校
5月18日(木)	豊田小学校	7月6日(木)	日野第三小学校
5月25日(木)	日野第一小学校	7月13日(木)	旭が丘小学校
5月25日(木)	潤徳小学校	2月2日(金)	日野第五小学校
6月9日(金)	南平小学校	2月9日(金)	日野第六小学校
6月15日(木)	仲田小学校	2月22日(木)	平山小学校
6月16日(金)	七生緑小学校	3月8日(木)	日野第七小学校

⑥ 学校へ貸出・搬送(学校搬送便)

市内小中学校からの要望に応じて、授業内容に沿った資料や読書指導に必要な図書を貸し出し、搬送している。

搬送回数(のべ)	貸出冊数
133回	6,094冊

⑦ 「本の森」学級文庫配本

子ども読書推進のため、小学校全学年へ読み物を中心とした図書セットを配本している。

回 数	貸出冊数
のべ 51 回	14,315 冊

⑧ 中学生の職場体験学習

行事名	開催日	実施館	備 考
職場体験	随時	中央・高幡・日野・多摩平・平山・百草	のべ 19 校 52 人

⑨ ジュニア・スタッフ(中学生)

夏休みに図書館の仕事を体験するジュニア・スタッフ事業を行っている。

開催日	実施館	人数
7月下旬と8月上旬の4日間 (中央・日野は2日間)	中央・高幡・日野・多摩平・百草	11 人

⑩ 来館(施設見学、おはなし会等)

行 事 名	開催日	実施館	
小・中学校	随時	中央・高幡・日野・多摩平・百草	18 校
その他	随時	中央・高幡・多摩平	23 団体

⑪ 市立幼稚園・保育園等への配本

幼稚園・保育園に対し、年齢に見合った図書を選定・配本し、読書活動の推進を図っている。

のべ配回数	配本冊数
51 回	2,790 冊

⑫ 健康課主催ママパパクラスにて図書館案内と関連図書紹介

開催日	会 場
6月12日(月) 9月4日(月) 1月15日(月)	生活・保健センター

⑬ 青少年読書活動事業

「ヤングスタッフ事業」

青少年が自ら企画・立案し、イベントの開催、推薦図書リストの作成等を行った。
公募により、市内在住・在学の大学生・高校生が15人参加。

行 事 名	開催日	備考
「としょかんおはなしピクニック2017」 BOOKパレード・ワークショップ (しおり作り)	4月23日 (日)	・おすすめ本の紹介 ・ワークショップ「しおり作り」 会場：多摩平の森ふれあい館 スタッフ8人。参加者7人。
市内大学連携事業「実践女子大学 との交流会」	7月27日 (木)	・実践女子大学図書館を見学 ・学園祭で行うイベントについて の話し合いを実施 会場：実践女子大学 スタッフ4人。参加者2人。
市内大学連携事業「実践女子大学 常磐祭」 テーマ展示・フローチャート展示 クイズラリー・ワークショップ (おりがみ)	11月11日 (土) 11月12日 (日)	・「どうぶつ」に関する本や、フ ローチャートを展示 ・大学図書館内を使ったクイズ ラリー、おりがみ作成 会場：実践女子大学 図書館
市内大学連携事業 「実践女子大学常磐祭 ビブリオ バトル」	11月12日 (日)	・学生と合同で、企画し開催 会場：実践女子大学 スタッフ5人。参加者56人。
「BOOKパレード i n 日野市立日 野第一中学校」	3月5日 (月)	・おすすめ本の紹介 会場：日野第一中学校 図書室 スタッフ3人。参加者21人 (図書 委員 各学年7人)。

⑭ 中学生と作家の交流事業

「見つけよう！新しい本の世界を はやみねかおるさん講演会」

作家との交流をきっかけとして、中学生が本に親しみ、自ら読書の楽しさを
発信する活動を行うことを目指すために実施。市内中学生22人が企画運営。

開催日	会 場	講 師	参加者数
11月5日 (日)	多摩平の森ふれあい館	はやみね かおる氏	152人

(6) 障害者サービス

①利用者、音訳点訳登録者、点字図書、拡大写本、対面朗読数

利用者数		音訳者	点訳者	点字図書			拡大写本		対面朗読		
個人	団体			作成 枚数	貸出		作成 枚数	貸出 タイトル 数	件数	延べ 時間	延べ音 訳者数
					タイトル数	巻数					
188	8	44	11	4,310	586	806	0	0	171	461.5	310

②録音図書の作成・貸出数

作 成						貸 出					
テープ図書		DAISY 図書		合 計		テープ図書		DAISY 図書		合 計	
タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数
0	0	53	53	53	53	172	672	3,543	3,543	3,715	4,215

③ 相互貸借の貸出・借用数

貸 出						借 用					
テープ図書		DAISY 図書		点字図書		テープ図書		DAISY 図書		点字図書	
タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数
1	1	5,739	5,739	2,880	2,887	129	629	1,794	1,794	192	400

④ 宅配による貸出数

利用者数	回数	貸出図書冊数
35	253	1,580

⑤ 講習会開催数

講 習 名	講 師	開催回数	開催場所	受講者
音訳者講習会（中級）	成毛 由紀子氏	全 3 回	多摩平の森ふれあい館	34 人

⑥ 出張点字授業

点字や視覚障害者についての理解を深めるため、市内小学校 4 年生のクラスを訪問している。

訪問日	学校名	クラス数
5 月 23 日（火）・5 月 24 日（水）	南平小学校	2
9 月 29 日（金）・10 月 6 日（金）	日野第七小学校	3
10 月 4 日（水）・10 月 5 日（木）	潤徳小学校	4
10 月 18 日（水）	夢が丘小学校	2

2 刊行資料

資料名(1回当りの発行部数)	発行回数	発行部数
館報「ひろば」	12	18,888
館報「ひろば」特集号 「昭和生まれと平成生まれが選ぶ『ザ・昭和』」	1	1,574
新聞記事速報	244	56,120
資料の広場(1回あたり180部)	10	1,800

3 視聴覚ライブラリー

(1) 視聴覚機材、16ミリフィルム保有数及び貸出数

資料・機材名	保有数	貸出数
16ミリ映写機	1	0
8ミリ映写機	1	0
スライド映写機	1	0
スクリーン	8	1
暗幕	19	44
16ミリフィルム	60	0

(2) 16ミリ映写機検定

項 目	開催日	検定台数	会場
16ミリ映写機検定	9月11日(月)	5台	中央図書館

4 インターネットサービス

(1) ホームページアクセス件数 1,758,546件

(2) パスワード発行数 2,024件

(3) メールアドレス登録者数 (累計) 15,825人
予約した資料の用意ができたお知らせ等を送信している。

(4) インターネット検索パソコン利用回数

インターネットの情報を図書館でも検索できるように、各館にインターネット端末を設置している。

中央	レファレンス	高幡	日野	多摩平	平山	市政	百草	合計
557	665	1,003	487	1,923	639	300	341	5,915

(5) 持込PC用電源利用受付数

中央	レファレンス	高幡	日野	多摩平	平山	市政	百草	合計
-	249	83	32	446	46	-	20	876

5 テーマ展示

本との出会いを生む取組として、テーマごとに蔵書の紹介をしている。

(1) 中央図書館

	テーマ	
4月	春をたのしむ本	疲れたな、と感じたときに読む本
5月	動物特集（エッセー・飼い方など）	色彩
6月	選挙に行こう！	文房具と道具の本
7月	【環境】	文庫で読む海
8月	【平和】	山を安全に楽しもう
9月	【自殺防止】	家族のカタチ
10月	はやみねかおる氏の作品（講演会開催にあわせて）	紫波町とくだもの
11月	子育てが楽しくなる！疲れたときに読みたい本	TOYODA BEER
12月	【児童虐待防止】	年越し
1月	冬の本	イヌと嗅覚・におい
2月	ザ・昭和	大人の切り紙
3月	ねこ（2月22日は猫の日）	東日本大震災から7年 熊本大震災から2年

(2) 高幡図書館

	テーマ	
4月	熊本・大分関連	
5月		
6月	環境	
7月	ひんやり	
8月	ヒロシマ・ナガサキ	
9月	子育て支援	
10月	まちゼミ	
11月	気になる3人のイラストレーター	
12月	クリスマス・お正月	
1月	ザ・昭和	
2月	飛鳥新社の出版物	アーシュラ・K. ルグイン追悼
3月	自殺防止	

(3) 日野図書館

	テーマ	
4月	春	
5月	子どもの日／乗り物	
6月	雨／パンダ	
7月	【子育て支援】みんなで子育て	旧農林省蚕糸試験場日野桑園 第一蚕室(通称「桑ハウス」) 国有形文化財に登録される！
8月	【平和】それぞれの一冊	
9月	【認知症】認知症を知る	
10月	2階にある本	
11月	【環境】気軽にはじめるエコ生活	
12月	短編小説を読む	
1月	ザ・昭和	
2月	辞書にまつわる本 ～「広辞苑」10年ぶりの改訂～	
3月	【自殺防止】よりそう言葉	

(4) 多摩平図書館

	テーマ
4月	★小林敏也氏作品展示
5月	★子ども家庭支援センター講座で紹介した本
6月	くだものの本
7月	～姉妹都市・紫波町は歴史とフルーツのまち～
8月	【平和】
9月	赤ちゃんの本
10月	まちゼミ
11月	児童虐待防止
12月	たき火～旭が丘「たきび祭」によせて～
1月	ザ・昭和
2月	【環境】
3月	自殺防止

(5) 平山図書館

	テーマ
4月	近郊を歩く／皇室／井浦新／実践女子大学生が選んだ本
5月	健康で快適に住むために／浅田真央さん引退
6月	小島善太郎氏／パンダ赤ちゃん誕生
7月	追悼 日野原重明氏／夏の行事&風物詩
8月	【平和】
9月	【環境】
10月	部活／ななおBONまつり
11月	児童虐待防止／年賀状をつくる
12月	闘病記／クリスマス・正月を迎える／初詣、御朱印めぐり
1月	ザ・昭和／追悼 葉室麟氏
2月	平昌オリンピック／追悼 金子兜太氏
3月	人生の先輩からのメッセージ／挿し絵／追悼 ホーキング氏／ 追悼 内田康夫氏

(6) 百草図書館

	テーマ
4月	ファッション
5月	ファッション
6月	食育
7月	地域コミュニティ・将棋
8月	【平和】
9月	【認知症】
10月	【環境】・スープ
11月	お酒
12月	クリスマス・お正月
1月	ザ・昭和
2月	過去の直木賞・芥川賞
3月	パラリンピック

6 日野宿発見隊

活動内容	開催月日	会場	参加者数等
日野宿発見隊第76弾「スタンプラリー in 日野宿2017」(降雨のため日野宿本陣前駐車場にて開催)	5月13日(土)	日野宿本陣前駐車場	217人
日野宿発見隊第77弾「夏休み！親子で調べよう日野用水」	7月29日(土)	新東光寺地区センター前用水	54人
日野宿発見隊第78弾「まちかど写真館 in ひのー日野用水今昔ー」展示	8月1日(火)～9月30日(土)	大昌寺北石壁ほか	
日野宿発見隊第79弾「ちょこっと夕涼み会」(第一部：子ども向け 笹流し、時の鐘の実演など)	8月26日(土)	親水広場脇	41人
日野宿発見隊第79弾「ちょこっと夕涼み会」(第二部：一般向け 写真・映像で見る日野用水)	8月26日(土)	金子橋地区センター	21人
日野宿発見隊第80弾「八坂の祭り写真展」	9月1日(金)～30日(土)	八坂神社玉垣ほか	
日野一中生徒会とコラボして用水清掃	10月10日(火)	日野一中内および日野一中前用水	110人
日野宿発見隊第81弾 まち歩き会「日野宿ミステリーツアー」	12月2日(土)	日野宿内(松本保家・佐藤元雄家・有山董家)	28人
日野宿発見隊第82弾 まち歩き会「日野宿の野草を探しに」	3月26日(月)	日野宿内	22人
日野宿発見隊通信第15号発行	3月30日(金)	一小、東光寺小、仲田小学区内自治会配布	500部

7 本を通じた交流の企画

(1) はじまりの読書会2017

	開催日程	とりあげた本	会場	講師
第1回	9月15日(金)	『父と暮せば』 井上ひさし／著	多摩平の森 ふれあい館	青木 笙子氏
第2回	10月20日(金)	『螢川』 宮本輝／著		
第3回	11月17日(金)	『キッチン』 吉本ばなな／著		
第4回	1月19日(金)	『センセイの鞆』 川上弘美／著		
第5回	2月16日(金)	『楢山節考』 深沢七郎／著		
第6回	3月16日(金)	『あ・うん』 向田邦子／著		

参加者：15名

(2) 移動図書館ひまわり号が参加したイベント等

開催日	イベント名
10月8日(日)	手をつなごう・こどもまつり
10月28日(土)	豊田ふれあいフェスタ
11月4日(土)	明星大学学園祭「星友祭」

(3) 市民ワークショップ&中央図書館バックヤードツアー

開催日・時間	参加者数	会場
7月22日(土) 17:30~20:00	15人	中央図書館

(4) 中央図書館で楽しむTOYODA BEER

開催日時	参加者数	会場
11月18日(土) 17:15~19:00	90人	中央図書館

8 第3次日野市立図書館基本計画策定

(1) 基本理念

「くらしの中に図書館を」
本と出あい、人と出あう
「知のひろば」が
地域の文化を創る

(2) 基本方針

- ①地域の文化を創る拠点となる図書館をめざします
- ②市民が気軽に立ち寄ることができる交流や憩いの場となります
- ③市民の読書活動を推進します
- ④すべての市民に図書館サービスを提供します
- ⑤現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します

(3) 策定の経過

実施日	内容
平成29年5月9日（火） ～20日（土）	日野市立図書館に関するアンケートを実施
平成29年5月23日（火）	第3次日野市立図書館基本計画策定委員委嘱式 策定委員による市内分館視察
平成29年6月23日（金）	策定委員による中央図書館、移動図書館ひまわり号視察
平成29年6月23日（金）	第1回策定委員会 委員紹介 委員長・副委員長選出 「第2次日野市立図書館基本計画進捗管理状況」について 市民アンケート結果速報 「日野市立図書館の現状と課題」について
平成29年7月22日（土）	中央図書館バックヤードツアー・「みんなで語ろう！みらいの図書館」市民ワークショップを開催
平成29年7月14日（金） ～8月4日（金）	移動図書館ひまわり号利用者アンケートを実施
平成29年9月16日（土）	第2回策定委員会 「計画策定に向けての課題のまとめ」について 「計画の基本理念」について
平成29年9月25日（月）	職員ワークショップを開催

平成29年10月29日（日）	第3回策定委員会 「計画策定に向けての課題のまとめ」「計画の基本理念」について 「職員ワークショップ実施報告書」について 「計画の骨子・目次（案）、計画に入れる内容」について
平成29年12月16日（土）	第4回策定委員会 「第3次日野市立図書館基本計画 素案」について 図書館運営のありかたについて
平成30年1月5日（金） ～1月26日（金）	パブリックコメントの募集
平成30年2月3日（土）	第5回策定委員会 「第3次日野市立図書館基本計画 パブリックコメントの結果」について 「データ集等」について
平成30年2月23日（金）	第6回策定委員会 「第3次日野市立図書館基本計画（案）」について

9 その他

（1）リサイクル図書配布

配布先	施設数	配布数
公共施設等	4 施設	369 冊
児童施設	18 施設	1,300 冊
図書館での配布	—	36,664 冊

（2）実習生(大学生以上)受入

期 間	団体・学校名	学年等	目的	人数
8月18日（金）、 21日（月）、22日（火）	中央大学	大学院生	職員課インターンシップ	1人
8月22日（火）、 24日（木）、25日（金）	日野第四中学校	教諭	10年研修	1人
8月23日（水）、 24日（木）	山梨大学	3年	社会教育インターンシップ	1人
2月20日（火） ～3月4日（日）	実践女子大学	3年	図書館実習	2人

<参考資料>

Ⅱ．日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日

制定

(目的)

第1条 この要綱は、図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の3に規定する、図書館の運営の状況に関する評価等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市立図書館（以下「図書館」という。）は、毎年1回、図書館の運営状況について評価を行う。

(評価の方法)

第3条 図書館は、図書館協議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 図書館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 図書館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 図書館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、図書館庶務整理係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、図書館長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

< 参考資料 >

Ⅲ. 図書館協議会委員名簿

《 第 2 7 期図書館協議会委員 》

委員長	大杉 宏光		社会教育の関係者
副委員長	田代 守		社会教育の関係者
委員	紺野 順子		学識経験者
委員	塚原 博		学識経験者
委員	阪田 幸子	平成29年3月31日まで	学校教育の関係者
	小林 洋之	平成29年4月 1日から	
委員	高橋 清吾		学校教育の関係者
委員	山上 貴久	平成28年5月12日から 平成29年6月18日まで	家庭教育の向上に資する活動を行うもの
	黒川 洋美	平成29年6月19日から	
委員	田中 正昭		公募による市民
委員	玉城 恵子		公募による市民

任期 自 平成28年4月15日
至 平成30年4月14日

《 第 2 8 期図書館協議会委員 》

委員長	田代 守		社会教育の関係者
副委員長	紺野 順子		学識経験者
委員	大杉 宏光		社会教育の関係者
委員	福島貴美江		学校教育の関係者
委員	秋野 宏之		学校教育の関係者
委員	黒川 洋美		家庭教育の向上に資する活動を行うもの
委員	田中 正昭		公募による市民
委員	菊地 恵子		公募による市民

任期 自 平成30年4月15日
至 平成32年4月14日

平成 30 年度
日野市立図書館の運営の
状況に関する評価書

(平成 29 年度事業)
くらしの中に図書館を

平成 30 年 9 月

日野市立図書館

〒191-0053 東京都日野市豊田 2-49-2

電話 042-586-0584